# 職業実践専門課程等の基本情報について

株式の中のアーナー・香門学校   平成の作用の日   年生 住 (住所)   福岡県田南市神学教育を発作1-10-14   日本の作用の日本	学校名		設置認可年月	日校	長名			所在地								
数点を表している。	ASOポップカルチャー	·専門学校	平成30年3月	3日 麻生	健		812-0016 福岡県福岡市博多区博	多駅南1-13-14	1-13-14							
### 100mm	設置者名		铅立锣可在目	1日 代表	去夕	(電話)	092-415-2023									
大きの   日本日本日																
### 2000	学校法人麻生	型	昭和26年3月1	2日 理事長	麻生 健			83								
学科の目的 アニー・ルール・州の上の社の対抗性がある動物が対抗性が表現的なアークフローを創しており、業界の知識が対抗したで表面できら作用のを持ったアニーターを見ばする。 学科の影響が対抗 からから 名称を、成本システンスを、アクテルカースを力を受ける。 様素を型 要求 学校の音で、アール・ルール・川の上の影響を発生している。 一般の また アクテルカース アクテルカルカース アクテルカース アクテルカルカース アクテルカース アクテルカルカース アクテルカース アクテルカース アクテルカース アクテルカース アクテルカース アクテルカルカース アクテルカース アクテルカース アクテルカース アクテルカース アクテルカース アクテルカース アクテルカース アクテルカルカース アクテルカース アクテルカース アクテルカース アクテルカース アクテルカルカース アクテルカース アクテルカルカース アクテルカルカース アクテルカース アクテルカルカース アクテルカース	分野		認定課程名	認定学科名				高度専門士認定年	車度 職業	実践専門課程認定年度						
	文化・教養	文化	·教養専門課程	コミックイラスト科(アニ	ニメコース)	令和	口元(2019)年度	-		令和2(2020)年度						
開発性	学科の目的	アニメーショ	ン制作に関わる全般的な	技術を実践的なワークフロ	コーを通して	学び、業界の国	即戦力として活躍できる作画	<b>画力を持ったアニメーター</b> :	を育成する。							
2   2   2   2   2   2   2   2   2   2	育内容、取得可能な	主な教育内: 取得可能な	容:アニメーション制作に 検定:色彩検定、情報シス	必要な画力や色彩感覚、》 ステム検定、ビジネス能力	寅出・表現方〉 検定ジョブパ	法などを学ぶ。 ス、アニメ検定										
全様的変換 主接東京(A)	修業年限	昼夜			講	義	演習	実習	実験	実技						
全球製造機   2世東美化   日本教 (2 本	2	昼間	※単位時間、単位いずれか に記入													
19 0 人の内容	年			ı				0 単位	0 単位	0 単位						
■ 第 美書を (の)	生徒総定員	生徒爭	軽員(A) 留学生	E数 (生徒実員の内数) (B)	留学生書	引合(B/A)	中退率									
# 1 (報告を表現 (20) : 1 人 人	80 人の内数	13	Д.	2 人	1:	5%	0 %									
					_	<u> </u>										
■元正が政策を担け、 1 人 人 日記 日本																
		■地元就職	钱者数 (F)	1		人										
100 %   10						%										
通子を設				100		%										
■ 正子名数		■卒業者に	占める就職者の割合 <b>(E</b>	/C)		04										
最近の現場である。  「日本の中のでは、	±4100 ft 0 10 10	■進学者数	t			人										
(今初 6年度や表記に関するものであり、19年の (今のでは現外、業界等 (をいわしまの主要)    ■ 大阪 (	就職等の状況			<u> </u>												
(今初 6年度や表記に関するものであり、19年の (今のでは現外、業界等 (をいわしまの主要)    ■ 大阪 (		お際は流さ	]突・計勝宇教の極拳!	おいて 業男理師 / 屋	麻重指道 /	で 一体 は 型 へ	対策を実施									
■主体関係人業界等 (を知られる主き) アニチ制作会社のアニメーター  ■実际の予格の関係から第三名評価: 第 第本の場合、税とはロドについて信息記憶 アが回答は (2 年 7 月 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日		が戦担待し	コロ. 孤戦天份の授業に	-のいて、未介理附/腹	正言拍得/	回接棘首の	7) 宋で大肥									
■主体関係人業界等 (を知られる主き) アニチ制作会社のアニメーター  ■実际の予格の関係から第三名評価: 第 第本の場合、税とはロドについて信息記憶 アが回答は (2 年 7 月 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日		(令和	6 年度卒業者	こ関する令和7年5月1日	時点の情報)											
第三者による 学校評価 第三者による 学校評価  当該学科の 水ールページ URL  はtros:// assibabu.sc. in/ass/anime/ URL  (A: 単位時間による事意)    (A: 単位時間による事意)   (A: 単位時間による事意)   (A: 単位時間による事意)   (A: 単位時間による事意)   (A: 単位時間による事意)   (A: 単位時間による事意)   (A: 単位時間による事意)   (A: 単位時間による事意)   (A: 単位時間による事意)   (A: 単位時間による事意)   (A: 単位時間による事意)   (A: 単位時間による事意)   (A: 単位時間による事意)   (A: 単位時間による事意)   (A: 単位時間による事意)   (B: 単位時による事意)   (B: 単位時によ																
■ 民間の評価機関等から第三者評価: 無 第三者による 字花評価  当該学科の ホームページ  ***  **  **  **  **  **  **  **  **		(令和6年度2	卒業生)													
第三者による 字化評価		アニメ制作	会社のアニメーター													
第三者による 字化評価		■民間の≪	原価機関筆から第二字	<b>連価・</b>			<del>  </del>									
# 神経   野龍田   野田   野	₩ = * · - · ·						<del>////</del>									
当該学科の ホームページ INTEX://asoluku.ac.lg/asol/anime/ URL  (A: 単位時間による事文:  (A: 単位時間による事文:  起授業神教  (A: 単位時間  (A: 日本の特別を開発を  (A: 日本の時間  (A: 日本の中的  (A: 日本の中的				- <del></del>												
当該学科の			評価団体:		受審年月:		i	評価結果を掲載した ホームページURL								
##DS://solublus.in/soc/anime/ URL  (A. 単位時間による事変)  (B. 単位時間    5-企業等と連携した実験・実置・実技の授業時数 単位時間   5-企業等と連携した姿勢の実施・実置・実技の授業時数 単位時間   5-企業等と連携したが多の演習の授業時数 単位時間   5-企業等と連携したが多の演習の授業時数 単位時間   5-企業等と連携したインターンシップの授業時数 単位時間   10、日いずれかに   10人 日いずれかに   10人 日いずれかに   10人 日の 日本位   10人 日本行	当時学科の															
(A:単位時間による算定)  超接票特数	ホームページ	https://asc	juku.ac.jp/apc/anime/													
設長集時数 0 単位時間 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	URL															
うち企業等と連携した実施・実面・実技の授業時数   単位時間   うち企業等と連携した海面の授業時数   単位時間   うち企業等と連携した必修の実験・実面・実技の授業時数   単位時間   うち企業等と連携した必修の実験・実面・実技の授業時数   単位時間   うち企業等と連携した必修の実面の授業時数   単位時間   写金業施状況 (A. B1)ずれかに   記入)   日:単位数による算定)   日:単位数による算定   日:単位数による算定   日:単位数による算定   日:単位数による算定   日:単位数による算定   日:単位数による算定   日:単位数による算定   日:単位数による算定   日・単位数   日・単位   日・単位数   日・単位数   日・単位数   日・単位数   日・単位   日・本位数   日・単位   日・本位数   日・単位   日・本位数   日・単位   日・本位数   日・単位   日・本位数   日・単位   日・本位数   日・本位   日・本の   日・本位   日・本の   日・		(A:単位E	寺間による算定)													
うち企業等と連携した実   一方の企業等と連携した表   音の声音を注意した必修の実験・実置・実技の授業時数 単位時間   うち企業等と連携したが多の実験・実置・実技の授業時数 単位時間   うち企業等と連携したが多の実験・実置・実技の授業時数 単位時間   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本			総授業時数						0 単位時間	1						
うちの様果美神教   単位時間   一方の産業や上連携したと夢の実験・実置・実技の授業特教   単位時間   一方の企業や上連携したと夢の実験が表   単位時間   一方の企業や上連携したと夢の実際の実験が表   単位時間   単位時間   日本の表別の大学を表現した。「お企業等と連携したが多の実際の理解特教   単位時間   日本の表別   日本の表別の単位教   日本の表別   日			うち企業等	と連携した実験・実習・乳	実技の授業時	数			単位時間	1						
うちの様果美神教   単位時間   一方の産業や上連携したと夢の実験・実置・実技の授業特教   単位時間   一方の企業や上連携したと夢の実験が表   単位時間   一方の企業や上連携したと夢の実際の実験が表   単位時間   単位時間   日本の表別の大学を表現した。「お企業等と連携したが多の実際の理解特教   単位時間   日本の表別   日本の表別の単位教   日本の表別   日			うち企業等	と連携した演習の授業時数												
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の反策時数   単位時間   うち企業等と連携したと修の演習の授業時数   単位時間   うち企業等と連携したと参の演習の授業時数   単位時間   である文献が大沢 (A. Buy 1 か) (B. 単位数による算定)																
企業等と連携した実 習等の実施状況 (A、BUサイかい 記入)  B:単位数  (56企業等と連携したインターンシップの授業時数)  B:単位数  (56企業等と連携した実際・実習・実技の単位数  (56企業等と連携した実際・実習・実技の単位数  (56企業等と連携した実際・実習・実技の単位数  (56企業等と連携した変解の実際・実習・実技の単位数  (56企業等と連携した変解の演習の単位数  (56企業等と連携した必修の演習の単位数  (56企業等と連携したが表別で連載を連載を表別で連載を表別で連載を表別で連載を表別で連載を表別で連載を表別で連載を表別で連載を表別で連載を表別で表別で表別で連載を表別で表別で表別で表別で表別で表別で表別で表別で表別で表別で表別で表別で表別で表			7 520 1310		修の実験・写	主習・実はのは	<b>将業時数</b>									
企業等と連携した実 習等の実施状況 (A、Bいずれかに 配入)  (B:単位数による算定)  (B:単位数による算定)  (B:単位数							A-45-1 8A									
企業等を連携した実 置等の実施技術で 記入)    8 : 単位数			(													
(8:単位数 62 単位 75 企業等と連携した実験・実習・実技の単位数 9 単位 75 企業等と連携した実験・実習・実技の単位数 9 単位 75 企業等と連携した演習の単位数 18 単位 75 企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数 0 単位 75 企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数 0 単位 75 企業等と連携した必修の演験・実習・実技の単位数 2 単位 (75 企業等と連携した必修の演験・実習・実技の単位数 0 単位 75 企業等と連携したインターンシップの単位数 0 単位 75 企業等と連携したインターンシップの単位数 1 人 担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業 年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる (海修学校設置基準第41条第1項第1号) 1 人 2 学士の学位を有する者等 (海修学校設置基準第41条第1項第2号) 1 人 3 高等学校設置基準第41条第1項第2号) 0 人 6 修士の学位文は専門職学位 (海修学校設置基準第41条第1項第2号) 0 人 5 その他 (海修学校設置基準第41条第1項第5号) 1 人 5 をの他 (海修学校設置基準第41条第1項第5号) 1 人 5 をの他 5 をの他 5 をの 5 を 5 を 5 を 5 を 5 を 5 を 5 を 5 を 5	企業等と連携した実		(つち企業	寺と連携したインターン♪	ノツノの授業	(可数)			単位時間	ii)						
記入)  (B:単位数  (B:単位数  (C) 単位  (D) 単位  (D) 単位  (D) 多の素等と連携した実験・実習・実技の単位数  (D) 単位  (D) 多の素等と連携した演習の単位数  (D) 単位  (D) 多の素等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数  (D) 単位  (D) 多の素等と連携した必修の演習の単位数  (D) 単位  (D) 単位  (D) 事修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業・実習・実践と当該表別に従事した制備とを通算して次年以上となる者者  (国) 事修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した制備とを通算して次年以上となる者者  (国) 学士の学位を有する者等  (国) 等修学校設置基準第41条第1項第1号)  (国) 第一次で表示を連携したが表示を表示を表示を表示と、対した。  (国) 事修学校設置基準第41条第1項第2号)  (国) 第一次で表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表																
うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数		(B:単位)														
うち企業等と連携した演習の単位数										_						
18 単位					実技の単位数	1										
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数									2 単位	_						
うち企業等と連携した必修の演習の単位数			うち必修単						18 単位							
(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)  ① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)  ② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)  ② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)  ③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)  ④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)  ⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)  D 人  計  上記①~⑤のうち、実務家教員 (分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能				うち企業等と連携した必	修の実験・第	実習・実技の	単位数		0 単位							
① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者  ② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号) 1人  ③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号) 0人  ④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号) 0人  ⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号) 0人  計 2人				うち企業等と連携した必	修の演習の単	単位数			2 単位							
担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業 年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる 者  ② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号) 1 人  ③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号) 0 人  ④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号) 0 人  ⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号) 0 人  計 2 人			(うち企業	等と連携したインターンシ	ンップの単位	.数)			0 単位							
担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業 年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる 者  ② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号) 1 人  ③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号) 0 人  ④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号) 0 人  ⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号) 0 人  計 2 人					-				-							
担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業 年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる 者  ② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号) 1 人  ③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号) 0 人  ④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号) 0 人  ⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号) 0 人  計 2 人																
### 中限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる (専修学校設置基準第41条第1項第2号) 1人 (専修学校設置基準第41条第1項第2号) 1人 (事修学校設置基準第41条第1項第3号) 0人 (事修学校設置基準第41条第1項第3号) 0人 (事修学校設置基準第41条第1項第4号) 0人 (事修学校設置基準第41条第1項第4号) 0人 (事修学校設置基準第41条第1項第5号) 0人 計 2人			① 専修学校の専門課程	是を修了した後、学校等に	おいてその											
者     ② 学士の学位を有する者等		1	年限と当該業務に従事し	ルに省でめって、当該専門 ルた期間とを通算して六年	味程の修業 以上となる	(専修学	学校設置基準第41条第1項第	1号)	1 人							
教員の属性(専任教員について記入)     ③ 高等学校教諭等経験者     (専修学校設置基準第41条第1項第3号)     0人       ④ 修士の学位又は専門職学位     (専修学校設置基準第41条第1項第4号)     0人       ⑤ その他     (専修学校設置基準第41条第1項第5号)     0人       計     2人																
教員の属性(専任教員について記入)     ③ 高等学校教諭等経験者     (専修学校設置基準第41条第1項第3号)     0人       ④ 修士の学位又は専門職学位     (専修学校設置基準第41条第1項第4号)     0人       ⑤ その他     (専修学校設置基準第41条第1項第5号)     0人       計     2人								08)		$\dashv$						
教員の属性 (専任教 員について記入)  ④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号) 0 人 ⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号) 0 人 計 2 人  上記①~⑤のうち、実務家教員 (分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能			@ #± ~ # + + + + + + + + + + + + + + + + + +	**												
(事修学校設置基準第41条第1項第4号)     0人       (事修学校設置基準第41条第1項第5号)     0人       計     2人       上記①~⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能																
計 2 人 上記①~⑤のうち、実務家教員 (分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能	教員の属性(専任教															
計 2 人 上記①~⑤のうち、実務家教員 (分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能			③ 高等学校教諭等経験	後者		(専修5	学校設置基準第41条第1項第	3号)	0人							
上記①~⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能			③ 高等学校教諭等経 ④ 修士の学位又は専門	後者		(専修5	学校設置基準第41条第1項第 学校設置基準第41条第1項第	3号)	0 A							
			③ 高等学校教諭等経験 ④ 修士の学位又は専門 ⑤ その他	後者		(専修5	学校設置基準第41条第1項第 学校設置基準第41条第1項第	3号)	0 人 0 人 0 人							
			③ 高等学校教諭等経験 ④ 修士の学位又は専門 ⑤ その他	後者		(専修5	学校設置基準第41条第1項第 学校設置基準第41条第1項第	3号)	0 人 0 人 0 人							
			③ 高等学校教諭等経験 ④ 修士の学位又は専門 ⑤ その他	後者		(専修5	学校設置基準第41条第1項第 学校設置基準第41条第1項第	3号)	0 人 0 人 0 人							
			③ 高等学校教諭等経験 ④ 修士の学位又は専門 ⑤ その他 計	職学位	おむね5年に	(専修生	学校設置基準第41条第1項第 学校設置基準第41条第1項第 学校設置基準第41条第1項第	3号) 4号) 5号)	0 人 0 人 0 人 2 人							
			③ 高等学校教諭等経覧 ④ 修士の学位又は専門 ⑤ その他 計 上記①~⑤のうち、実利	表者 引戦学位 多家教員 (分野におけるお	おむね5年以	(専修生	学校設置基準第41条第1項第 学校設置基準第41条第1項第 学校設置基準第41条第1項第	3号) 4号) 5号)	0 人 0 人 0 人 2 人							

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

アニメ業界の動向や即戦力に必要な知識・技術を把握するために、アニメーション制作企業からのヒアリングを行う。更に、就職担当者が企業に対してアンケートを実施し、それらの結果情報を元に、授業科目の開設に関する検討を行う。

教務部と就職担当で構成されたカリキュラム会議で、授業内容や方法を話し合い、カリキュラム案を作成し、教育課程編成委員会で各方面からの意見をいただく。さらに、その意見を集約し、カリキュラム会議で授業科目の開設や授業方法の改善としてまとめる。

教育課程編成委員会は、本校教職員の他に、専攻分野に関する企業等の役職員または有識者2人以上の委員をメンバーとする。年2回以上の会合を行い、次の各号に掲げる事項を審議し、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。

- (1)カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- (2)各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- (3)教科書・教材の選定に関する事項
- (4)その他教員としての資質能力の育成に必要な研修に関する事項

使用するハードウェアやソフトウェアに関しては、授業運営を実践する為に必要となるものを準備して効果的に授業を実施する。

#### (2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

専門性に関する動向や業界動向等について意見交換を行い、より実践的な職業教育の質を確保することを目的として、教育課程編成委 員会を設置する。

委員会では、前年度の取組みの結果を元に担当教員が作成したカリキュラム案を提示し、カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項ならびに各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項等について審議する。

教育課程編成委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1)教育課程の編成の責任者又はそれに準ずる者
- (2)専攻分野に関する企業等の役職員又は有識者 2人以上
- (3)委員会が必要と認める教員 1人以上

教育課程編成委員会の意見は、各学科または各系のカリキュラム会議において、カリキュラムの改善(授業科目の新設、改変や、授業方法の改善・工夫)などにできる限り反映する。

#### (3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年7月31日現在

名 前	所 属	任期	種別
		令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	1
入江 泰浩	一般社団法人 日本アニメーター・演出協会 代表理事	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	1
金子 文雄	株式会社NAGOMI 代表取締役	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	3
岩村 剛士	ASOポップカルチャー専門学校 リーダー	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	_
坂本 真来	ASOポップカルチャー専門学校	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	_
徳永 靖之	ASOポップカルチャー専門学校	令和7年4月1日~令和8年3月 31日(1年)	_

- ※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
  - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、
    - 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
  - ②学会や学術機関等の有識者
  - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

#### (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (7月、11月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年7月3日 16:00~17:00

第2回 令和6年11月13日 16:30~17:00

#### (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

アニメーション基礎およびレイアウト演習の科目についてご意見を伺い、カリキュラム内容や課題提出のスケジュールは適切であり、内容説明→演習→次回課題というサイクルも有効との評価をいただいた。ただし、学生数に対する個別フォローが課題であるとの指摘があった。また、他の学生の作品を閲覧し、講評を受ける機会を設けてはどうかとのご意見があったため、授業内で講評を実施していくこととした。業界研究を十分に行わずに入社する学生も少なくないため、在学中にしっかりと業界研究を行う必要があるとのご意見をいただいた。ポートフォリオについては、クラスのトップレベル層の学生割合が増えてきており、大手制作会社の求める水準に近づいていると評価された。その一方で、トップ層以外の学生もアニメーターを志すのであれば、幅広い制作会社を調査し、積極的に挑戦することが重要であるとの助言がありました。さらに、AIの活用については、作画系の授業では取り入れず、就職実務など文章作成を伴う授業での支援ツールとして使用することが適切であるとのご意見をいただきました。

これを踏まえ、業界研究を強化するため、就職実務科目の内容に制作会社に関する項目を追加し、一覧として整理することとした。

## 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

基礎知識を体系的に学習した学生に対して、実践能力を向上させる目的で研究テーマの選定や技術指導など、演習科目を中心に企業等 と連携した授業を実施する。実践的な技術指導を受けるだけでなく、技術者と直接コミュニケーションの機会を多く持つように運用する。

#### (2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

業界に向けたポートフォリオの制作を行う。

業界就職に向けた必要な作品の整理と内容についてどういったテーマが望ましいかなどの説明を行い、作品集として完成させる。各課題 テーマの設定や進捗状況について企業と連携して進めていく。また評価についても事前に本校教員と企業の講師により設定した評価基準 を元に実施する。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	企業連携の方法	科 目 概 要	連携企業等
ポートフォリオ	講師が全ての授業を主担	業界に向けたポートフォリオの制作を 行う。 必要な作品の整理とその説明を行う事 で、作品集として完成させる。	polepoleLABO

#### 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

- (1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
- ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

学校法人麻生塾 教職員研修規程に基づき、教職員に対して研修を行う。

教職員に対して、現在就いている職又は将来就くことが予想される職に係る職務の遂行に必要な知識又は技能等を修得させ、その遂行 に必要な教職員の能力及び資質等の向上を図ることを目的とする。

専攻分野における実務に関する研修や、指導力の修得・向上のための研修を教職員の業務経験や能力、担当する授業科目や授業以外 の担当業務に応じて実施し、より高度な職務を遂行するために必要な知識を修得させる。また、教育課程編成委員会などの意見を元に作 成したカリキュラムを運用するために必要となる知識や技術と教員とのスキルを比較し、不足しているものを中心に研修計画を立てる。外部 の教育機関が実施する研修または企業等から講師を招いての研修を受講する。

#### (2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

国産webtoonでヒット作を生む秘訣と今後の人材採用について 連携企業等:株式会社ワコム 研修名:

期間: 令和6年9月18日(水) 対象: 坂本

国産webtoonとしてLINEマンガ売上No1を記録した『神血の救世主~0.00000001%を引き当て最強へ~』を手掛ける株式 内容

会社ナンバーナインから大ヒット作品の制作秘話や、スタジオクルー募集に関する最新情報について学ぶ。

# ②指導力の修得・向上のための研修等

セルフマネジメント~困難な状況でも平静を保つために~ 連携企業等: オフィス シックスエイト 研修名:

期間: 令和6年8月30日(金)

困難な状況においても、平静心を保って適切な対応ができるようなるために、具体的には事実を単なる事実として的確に 捉え、自分の中に沸き起こる感情に惑わされることなく、判断し対応する方法を学ぶ。自分自身のケースを題材としなが 内容

ら、演習と対話を中心に進める。

#### (3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: WCCCクリエイティブコラボウェビナー『クリエイティブ業界最前2025』 連携企業等:株式会社ワコム

令和7年6月11日(水) 期間: 対象・坂太

クリエイティブ産業の最新の概況、業界動向、国際市場への浸透と拡大について学ぶ。さらに、アニメ・CG・ゲームの制作 内容

環境、技術での最新トレンドと課題や今後のクリエイターとしてのキャリアデザインに繋がるスキルセットについての理解

を深める。

②指導力の修得・向上のための研修等

高等教育機関における合理的配慮 研修名: 連携企業等:有吉祐睡眠クリニック

期間: 令和7年8月27日(水) 対象: 坂本

教職員が知っておくべき合理的配慮の基本的な内容を学ぶ。誤解されやすいポイントや要点として知っておくべき点を知 内容

り、発達障害をベースに、様々な状態像の学生のケースを通じて理解を深める。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

#### (1)学校関係者評価の基本方針

本校の基本方針に基づき、学校運営が適正に行われているかを企業関係者、保護者、地域住民、高校関係者等の参画を得て、包括的・客観的に判定することで、学校運営の課題・改善点・方策を見出し、学校として組織的・継続的な改善を図る。また、情報を公表することにより、開かれた学校づくりを行う。

# (2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念•目標	法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育成人材像、他
(2)学校運営	運営方針、事業計画、人事·給与規程、業務効率化、他
(3)教育活動	業界の人材ニーズに沿った教育、実践的な職業教育、教職員の資質向上、他
(4)学修成果	教育目的達成に向けた目標設定、事後の評価・検証、就職率、退学率、他
(5)学生支援	修学支援、生活支援、進路支援、卒業生への支援、他
(6)教育環境	教育設備・教具の管理・整備、安全対策、図書室の整備、他
(7)学生の受入れ募集	APの明示、進路ニーズ把握、パンフレット・募集要項の内容、公正・適切な入試
(8)財務	財政的基盤の確立、適切な予算編成・執行、会計監査、財務情報公開
(9)法令等の遵守	専修学校設置基準の遵守、学内諸規程の整備・運用、自己点検・評価、他
(10)社会貢献・地域貢献	社会貢献、地域貢献、学生のボランティア活動の推奨、他
(11)国際交流	

#### ※(10)及び(11)については任意記載。

#### (3)学校関係者評価結果の活用状況

委員から「留学生の在校生数が増加しているため、留学生が希望する進路に進めるよう、就職サポートを継続的に実施してほしい」との意 見があった。

この指摘を踏まえ、留学生の就職支援として日本語勉強会を週1回程度実施し、日本語能力の向上および面接指導を行っている。 特に日本語の「話す力」を養うことを目的に、グループワーク形式で実施することで、語学力の向上だけでなく、留学生同士のコミュニケー ションや交流の機会が増加している。

#### (4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和7年7月31日現在

名 前	所 属	任期	種別
大山 明	久留米市外三市町高等学校組合立三井中央高等学校 校長	(1年)	高等学校関 係者
浦川 美代子	博多駅南1丁目1区自治会 会長	令和7年4月1日~令和9年3月31日 (2年)	地域住民
大輪 健太郎	マンガ・イラスト・CG科CGコース 卒業生	令和7年4月1日~令和9年3月31日 (2年)	卒業生
川口 多恵子	CG專攻科在校生 保護者	令和7年4月1日~令和9年3月31日 (2年)	保護者等
今治 智隆	株式会社ヴァイス 代表取締役社長	令和7年4月1日~令和9年3月31日 (2年)	企業等委員
瀧口 大介	株式会社マトリックス 福岡開発室 室長	令和7年4月1日~令和9年3月31日 (2年)	企業等委員
宮迫 靖	株式会社D·A·G 本部長	令和7年4月1日~令和9年3月31日 (2年)	企業等委員
鈴木 慎之介	株式会社プロジェクトスタジオQ 代表取締役 社長	令和7年4月1日~令和9年3月31日 (2年)	企業等委員
河原 洋	株式会社studio A-CAT 博多スタジオ 支部長	令和7年4月1日~令和9年3月31日 (2年)	企業等委員
金子 文雄	株式会社NAGOMI 代表取締役	令和7年4月1日~令和9年3月31日 (2年)	企業等委員
小禄 卓也	㈱ナンバーナイン 取締役CXO	令和7年4月1日~令和9年3月31日 (2年)	企業等委員
久保 陽太	合同会社九十三 代表社員	令和7年4月1日~令和9年3月31日 (2年)	企業等委員
森 瞭維智	株式会社FOREST Hunting One 代表取締役	令和7年4月1日~令和9年3月31日 (2年)	企業等委員
足立 憲一	株式会社ワコム アカウントマネージャー	令和7年4月1日~令和9年3月31日 (2年)	企業等委員

))

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。 (例)企業等委員、PTA、卒業生等

#### (5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(

https://asojuku.ac.jp/about/disclosure/doc/apc/2025/hyoka.pdf

公表時期: 令和7年10月1日

URL:

# 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育方針・カリキュラム・就職指導状況など学校運営に関して、企業等や高校関係者、保護者などに広く情報を提供することで、学校運営の透明性を図るとともに、本校に対する理解を深めていただくことを目的とする。

# (2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	歴史、教育理念、教育目標、ASOの考え方、ASOの5つの個性
(2)各学科等の教育	入学者受入れ方針、教育課程編成・実施方針、カリキュラム、就職実績
(3)教職員	教員一覧及び実務家教員科目
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職サポート、GCB教育、企業連携
(5)様々な教育活動・教育環境	学園祭、部活動・サークル活動、学外ボランティア
(6)学生の生活支援	生活環境サポート、留学生キャンパスライフ、留学生ASOの就職サポート
(7)学生納付金·修学支援	学費とサポート、学習支援(各種支援制度)
(8)学校の財務	事業報告書、貸借対照表、収支計算書、財産目録、監査報告書
(9)学校評価	自己点検·評価、学校関係者評価
(10)国際連携の状況	留学生入学案内、留学生学べる分野、グローバル教育
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)・ 広報誌等の刊行物 ・ その他( ))

URL: https://asojuku.ac.jp/about/disclosure/apc/

https://asojuku.ac.jp/about/disclosure/

https://asojuku.ac.jp/apc/

公表時期: 令和7年7月31日

# 授業科目等の概要

	文)	化	教	養専門課程コミッ	ックイラスト科アニメコース)令和7年度											
		分類							扬	業プ	法	場	所	教	員	
	必修	選択必修	由選	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数		演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任		企業等との連携
1	0			GCB I	グローバル化がますます進む社会の中で、感謝 と思いやりをベースに高い人間力と、世界で通 用するグローバル感覚を持った人材を目指す。	1 前	15	1	0			0		0		
2		0		情報 リテラシー	パソコンの利用者に求められる基礎的なコン ピュータの仕組みや活用方法について学習して いく。情報社会においての姿勢・態度なども学 習していく。		15	1	0			0		0		
3		0		色彩技法 I	色の働き、光と色、色の表示を学び、作品での カラーカットなど実技を行い習得する。※色彩 検定	1 前	30	2	0			0			0	
4		0		空間表現 I	3D空間上にオブジェクトを配置し様々なアングルから描写を行う事で空間認識能力を養い、作品に活用させる。	1 前	30	2		0		0		0		
5		0		人体表現 I	キャラクターを表現するにあたって基本的なポイントを解説を交えながら、様々な角度やポーズを描く実習を通して、人間の身体の仕組みや 構造を学ぶ。	1 前	60	4		0	Δ	0		0		
6		0		ポートフォリ オ制作 I	ポートフォリオ用の作品制作を行う。アナログ からデジタルまでの素材をブラッシュアップ し、次年度の活動に向けて準備を行う。	1 前	90	6		0	Δ	0		0		
7		0		レイアウト演 習 I	構図の基本やレイアウトの描き方、カメラやレ ンズについて学ぶ。	1	60	4		0		0		0		
8		0			アニメーションに必要な知識や技術をトレーニング形式で行う。基礎的な動きを「素体」を用いて作画し、自身の身体の動作を確認しながらキャラクターの動きやタイミングなどを学ぶ。		90	6		0		0		0		
9		0		デジタルワー ク I	人体の授業や、他の授業で学んだ素体を描く技 術や知識をもとに、いろんなテーマに沿った キャラクターを描いていく。	1 前	30	2		0		0		0		
10	0			GCB II	国際人として、「夢」と「ビジョン」と「志」 を持ち、仕事に対する高い意識を持った、世界 に貢献できる人材を目指す。	1 後	15	1	0			0		0		
11		0		就職実務	就職活動に必要な、身だしなみ・書類作成・活 動の仕方についての一連の流れを習得する。	1 後	15	1		0		0		0		
12		0		色彩技法Ⅱ	色の働き、光と色、色の表示を学び、作品での カラーカットなど実技を行い習得する。※色彩 検定	1 後	30	2	0			0			0	

				養専門課程コミッ	ックイラスト科アニメコース)令和7年度											
		分類							授	後業プ	方法	場	所	教	員	
	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授 業 時 数	単位数		演習	実験・実習・実技		校 外	専任	兼任	企業等との連携
13		0		空間表現Ⅱ	制作に必要な遠近法を使用した背景技法を習得させ、作品に活用させる。	1 後	30	2		0		0		0		
14		0		人体表現Ⅱ	指定されたポーズ制作やキャラクターの作成及 び、ストーリーに沿った画面構成を作成してい く。	1 後	60	4		0	Δ	0		0		
15		0		ポートフォリ オ制作 II	ポートフォリオ用の作品制作を行う。アナログ からデジタルまでの素材をブラッシュアップ し、次年度の活動に向けて準備を行う。	1 後	90	6		0	Δ	0		0		
16		0		レイアウト演 習II	構図の基本やレイアウトの描き方、カメラやレンズ、パースを用いた空間の描き方について学ぶ	1 後	60	4		0		0		0		
17		0		デジタルワー クⅡ	人体の授業や、他の授業で学んだ素体を描く技 術や知識をもとに、ポートフォリオの表紙絵を 作成していく。	1 後	30	2		0		0		0		
18		0		アニメーショ ン基礎 II	アニメーション制作をグループに分けて行う。作品制作 に必要な全体の構成能力を学ぶ。コンテ作成から完成ま での一連の映像制作を経験させることで、映像制作に必 要な各セクションを認識させる。		90	6		0		0		0		
19	0			キャリアデザ イン I	この講座では、各々が希望する業界への内定に向けて、履歴書の作成・企業研究・面接練習などを行っていく。また、学校求人の案内や提出物の作成・確認など就職活動を行う上で必要な事を中心に行っていく。	2 前	45	3		0		0		0		
20	0			ビジネス実務	就職(就活)前におさえておきたいビジネス知 識や社会人のマナーを学び、個人・チームで働 く為のスキルやビジネスマインドを身につけ る。	2	15	1	0			0		0		
21	0			ポートフォリオ	業界に向けたポートフォリオの制作を行う。 必要な作品の整理とその説明を行う事で、作品 集として完成させる。	2 前	30	2		0		0			0	0
22		0		企画制作 I	テーマを設定し作品として作り上げていく。作 品公開に向けた制作を通して、表現力の向上、 進捗管理のノウハウを指導していく	2 前	90	6		0		0		0		
23		0		企画制作Ⅱ	テーマを設定し作品として作り上げていく。作 品公開に向けた制作を通して、表現力の向上、 進捗管理のノウハウを指導していく。	2 前	90	6		0		0		0		
24		0		企画制作Ⅲ	テーマを設定し作品として作り上げていく。作 品公開に向けた制作を通して、表現力の向上、 進捗管理のノウハウを指導していく。	2 前	90	6		0		0		0		
25		0		実 践 技 術 研 究 I	希望職種ごとに設定された課題の制作を行う。 基礎から振り返りクオリティとスピードの両立 を図る。	2 前	90	6		0		0		0		

				<b>養専門課程コミッ</b>	ックイラスト科アニメコース)令和7年度									Lie		
	必修	分 選択必修	自	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講	演習	法実験・実習・実技	場 校 内	<u>所</u> 校	事 任	<b>負</b> 兼 任	企業等との連携
26	0			キャリアデザ インⅡ	この講座では、各々が希望する業界への内定に向けて、履歴書の作成・企業研究・面接練習などを行っていく。また、学校求人の案内や提出物の作成・確認など就職活動を行う上で必要な事を中心に行っていく。	2	60	4		0		0		0		
27	0				作品公開に向けた制作を通して、表現力の向上、進捗管理のノウハウを指導していく。 アニメーション映像作品を主体とした授業を行う。 全工程のチェック、添削指導を行い、質の向上を目的とする。	2 後	90	6		0		0		0		
28		0			作品公開に向けた制作を通して、表現力の向上、進捗管理のノウハウを指導していく。 アニメーション映像作品を主体とした授業を行う。 全工程のチェック、添削指導を行い、質の向上を目的とする。	2 後	90	6		0		0		0		
29		0		卒業制作Ⅲ	作品公開に向けた制作を通して、表現力の向上、進捗管理のノ ウハウを指導していく。 アニメーション映像作品を主体とした授業を行う。 全工程のチェック、添削指導を行い、質の向上を目的とする。	2 後	90	6		0		0		0		
30		0			指定イラストの制作。これまでの集大成として 完成を目指す。	2 後	90	6		0		0		0		
			合	計	30	科	目		•		114	単位	(17	10単	位時	間)

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件: ・2年以上在学し必修科目と選択科目から62単位以上を修得していること ・必修科目の単位を修得していること	1 学年の学期区分	2 期
履修方法:学則に定める教育課程に基づき、必修科目と選択科目を履修する。	1 学期の授業期間	15 週

# (留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。